

訪日外国人旅行者が利用する通信環境確保に向けた取組

- 訪日外国人旅行者が日本滞在中に利用する通信手段は、無料公衆無線LAN、SIMカード、モバイルWiFiルーター等が挙げられる。
- 観光施設者や通信事業者等により**無料公衆無線LAN環境の整備が全国で進んでおり更なる整備促進に取り組んでいくが**、
 - ・訪日外国人旅行者の通信環境の利用意向として、SIMカード・モバイルWiFiルーターの需要があること
 - ・アジアを中心にSIMカードの購入が街中で容易にでき、日本においても入手場所を増やす必要性があること
 - ・無線LAN環境はアクセスポイントからの電波が数十メートルであるため利用可能エリアが限定的であること
 - ・日本の携帯回線の人口カバー率は世界の中でも優れており、途切れず利用できる環境が整っていること
 などを踏まえて、**SIMカードやモバイルWiFiルーター等で相互に補完**し、通信環境の改善を図る。

屋内の施設

主な通信手段：無料公衆無線LAN



観光案内所



飲食店

人が多く集まり、滞留する施設では民間（施設者・通信事業者）による投資インセンティブが大きく、無料公衆無線LANの設置が進んでいる。

取組内容

総務省と連携し、「**無料公衆無線LAN整備促進協議会**」の体制を活用し、各所に整備促進の働きかけを実施

屋外・移動体

主な通信手段：SIMカード、モバイルWiFiルーター等



公園



車内

公園や街全体といった広大なエリア・屋外やバスや鉄道車内といった移動体については携帯通信網の親和性が高く、SIMカードやモバイルWiFiルーターの利用が見込まれる。

取組内容

「**SIMカード・モバイルWiFiルーターの利用促進キャンペーン事業**」を観光庁として実施

相互補完

スマートフォン等



外国人旅行者

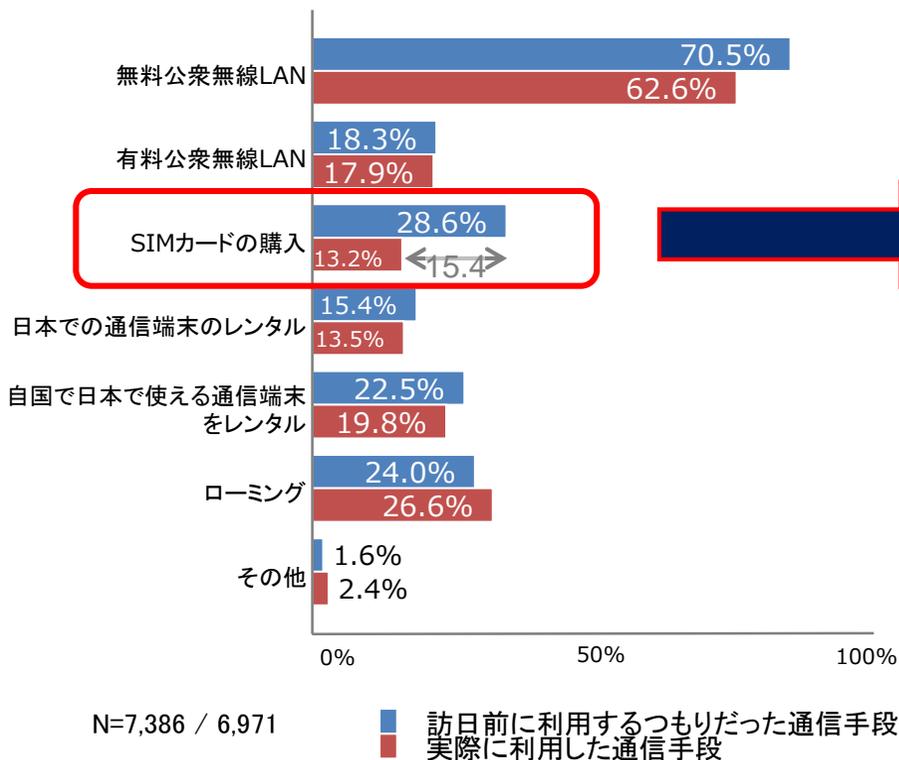
無料公衆無線LAN環境の整備、SIMカード・モバイルWiFiルーターの利用促進により総合的に通信環境の改善を図っていく

訪日外国人旅行者の通信手段に対する利用意向

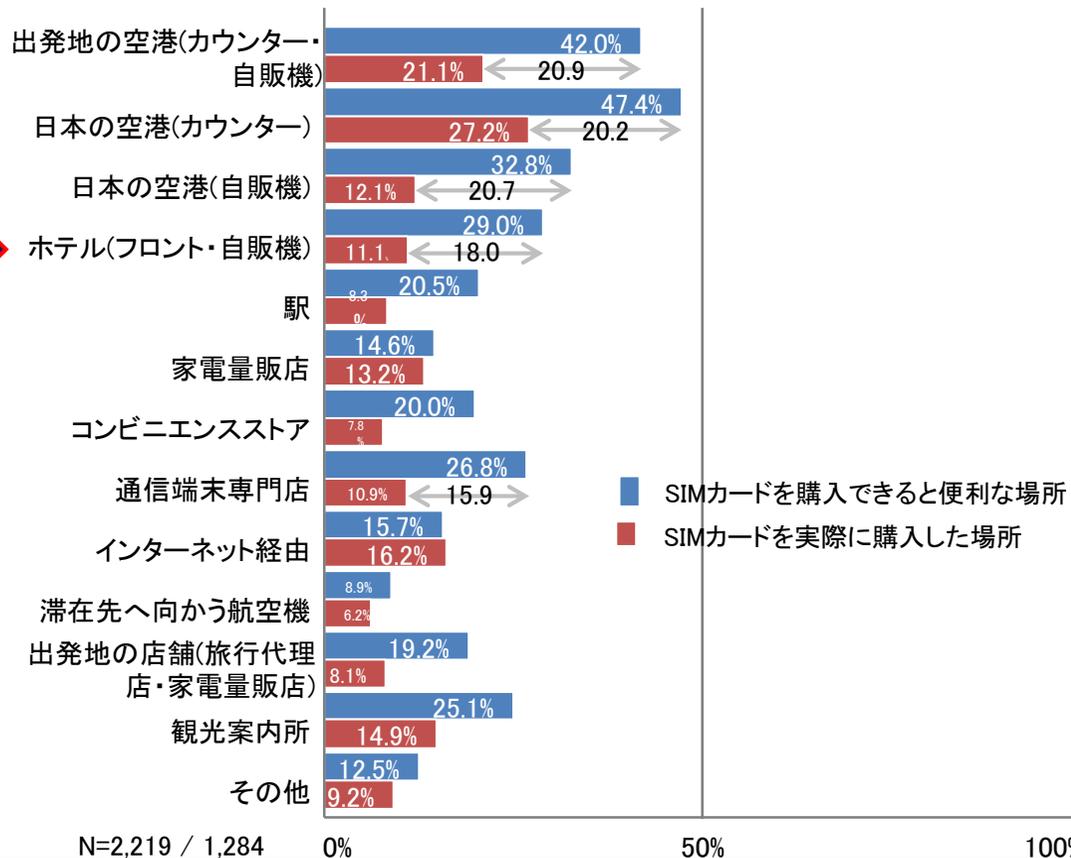
- 訪日外国人旅行者の通信手段の利用意向を調査したところ、無料公衆無線LANに次いでSIMカードの利用意向が高い(28.6%)に加え、訪日前に利用するつもりだった通信手段と実際に利用した通信手段の回答の割合の差が最も大きいのはSIMカードで、その差は15.4となっている(無料公衆無線LANは7.9)。
- SIMカードを購入できたら便利と回答した割合と、実際に購入したと回答した割合を比較すると、複数のシーンで旅行者の期待値を下回っている。

→訪日外国人旅行者の利用意向を踏まえ、SIMカードやモバイルWiFiルーターの周知・広報及び入手場所拡大の必要性

訪日前に利用するつもりだった通信手段/実際に利用した通信手段(MA)



SIMカードを購入できると便利な場所/実際に購入した場所(MA)



キャンペーン実施の目的

- 訪日外国人旅行者のSIMカード・モバイルWiFiルーターの利用意向やSIMカードの入手場所を拡大していく必要性があることから、「訪日外国人旅行者向けSIMカード・モバイルWiFiルーター利用促進キャンペーン」を実施する。
- 本キャンペーンを通じて、新規にSIMカードやモバイルWiFiルーターの取扱いを行いたい観光関係者の募集やキャンペーン広報を日本各地の取扱い場所で展開することで、入手場所の拡大と当該サービスの認知向上と更なる需要喚起に繋げる。

SIMカード・モバイルWiFiルーターサービスのプロモーション

全国各地の取扱場所で
ポスター・チラシを掲出



キャンペーン周知用の
ウェブサイトの開設



キャンペーンにご協力頂く全国の取扱店舗

区分	箇所数
空港カウンター	91
宿泊施設	28
駅・港	11
家電量販店	239
コンビニエンスストア	274
通信端末専門店	78
観光案内所	11
その他	70
総計	802

URL : <http://www.jnto.go.jp/mobiletips>